

また私立医学部の入試は通常だと大学入学共通テスト第1日程のすぐあとから始まり、そちらになると国公立・私立を併願している受験生は私立大学を受験しながら、大学入学共通テストを受験することになります。そういう事を含めてか、現時点で確認できている多くの進学校では、第1日程での受験を考えているようです。その一方で、文部科学省から令和2年6月19日に通知された令和3年度大学入学選抜実施要項によると、国公立・私立を問わず個別学力検査を行うすべての大学に対し、新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学者志願者の受験機会を確保する為の方策として、追試験の設定か追加の方策(等)への受験の振替を行おう旨が書かれています。私立大学医学部や医科

まずは新型コロナウイルスに感染しない事が必要です。また寒くなるとインフルエンザも流行ってきます。合格のポイントは、まずは「体調管理」です。そしてもうひとつ大切なポイントは、精神面での強化をはかることです。2021年度入試はこれまでの入試と違い、多くの不確定な要素があるため、受験や勉強に集中しにくい入試になります。ただし大変な条件はみんな同じな

2021年度医学部入試 合格のポイント

ただこれには、第1日程と第2日程の入試問題に、難易度の差が出てきたり、第2日程を選択した場合に、これまで正式には分からなかつた新テストの傾向を把握した上で受験ができるなどといった問題もはらんでいます。その反面、第2日程を選択した場合にはその後に行われる国公立二次試験に向けての対策が遅れるなど別の問題もあり、どういう選択が一番ベストなのか思案が必要となります。

また私立医学部の入試は通常だと大学入学共通テスト第1日程のすぐあとから始まり、そななると国公立・私立を併願している受験生は私立大学を受験しながら、大学入学共通テストを受験することになります。そ

大学においても「別途追試験日を認定」するか、後期試験を行う大学においては「後期試験に振り替える」などと今後早急に確定していくことになり、今後のコロナの状況を含め、2021年度入試はまだまだ二転、三転しそうな状況です。

まだ追試験の受験資格が発表されていないので何とも言えませんが、仮に大学入学共通テストと同じように現役生のみが選択できるとして、一次合格者の発表がその分確実に遅くなることになり、ただでさえ過密日程の医学部入試は同一日に私立大学の受験が重なることが多くある中、今回の方策でさらに受験日程の過密化が心配されます。そうなるとこれまで以上に受験大学の選定となりそうです。

入試日程の組み方が、さらに大事になり、合否を大きく左右することにななりそうです。

医師になる」という強い意欲が求められる

ので、ここで大きな差がないであります。“周りに左右されない”受験に集中する、“最後まで諦めない”その強い意識と精神面でのタフさが必要であり合否を分けることにつながってきます。

あとは入試情報も、これまで以上に大事になるので、最新の入試情報を探しつかり把握することが必要です。ちなみに昭和大学医学部だけ2021年度入試から国語を受験科目に加え、数学が国語のどちらかを選択することになります。国語が得意な受験生にとっては、チャンスが広がる入試になるかもしれません。

これまで以上に医師として活躍していくという自覚や覚悟が求められる面接試験になるでしょう。

今日はコロナ禍の中揺れ動いている2021年度入試についてお話ししましたが、紙面の関係で詳しくお伝えできていないことがまだまだたくさんあります。その後の最新情報などを含めて詳しくお聞きになりたい方や、何かご相談があればお気軽に富士学院各校舎へお問い合わせ下さい。

今、医療業界は“本物の人材”を求めています。“人材”になるか否かは、今一度改めて見てもらいたい。



2021年度入試以降、医学部合格のチャンスがさらに広がる

コロナに負けるな！コロナ禍の中行われる 2021年度医学部入試の展望と 合格のポイントについて

2020年、世界を襲った新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は日本においても猛威をふるい、学校の一斉休校など教育業界にも深刻な影響を及ぼし、現在もまだ、その影響は続いています。そのコロナ禍の中行われる2021年度入試は、今までのセンター試験から大学入学共通テストという新テストに切り替わる年でもあり、受験生の皆さんや保護者の皆さんも多く不安をかかえていることだと思います。今日は大きく揺れ動く2021年度入試の最新情報をはじめ、その対策や合格のポイントについて全国に8校舎を直営校として運営する医学部専門予備校大手の富士学院 坂本友寛院長にお話を伺いました。

2020年度の
医学部入試総括

新テストを翌年に控え、最後のセントラル試験の年となつた2020年度入試は、予想通り国公立医学部、私立医学部ともに志願者、受験者が減少し、昨年度と比べ今年度もわずかですが、難関の医学部医学科に合格しやすくなつた入試となりました。具体的な数字で見てみると、2020年度の国公立医学部医学科前期日程の志願者は14,742人で昨年度と比べ1,648人減り、受験者も12,138人で1,124人減りました。また後期日程での志願者は7,404人で、昨年度比で1,677人の減少、受験者は2,044人でこちらも427人の減少となつています。これで前期日程、

後期日程を含む一般入試の志願者は
2015年度以降6年連続で減少し、

大きく変わった
2021年度医学部入試

度入試からは新しく
大学入学共通テストが
施行されることになります。
ただし、新テストの大きな目
玉であった民間英語試験の成績利用が延
期され、数学、国語の記述式問題出題が見
送られるなど、ときにはこれまでのセ
ンター試験とあまり

のリストニングがこれまでの50点から100点に変わり、5教科7科目の平均点の目安が6割から5割に下がるなど、より思考力が問われる出題には、注意や対策が必要となります。そしてそれに加えて2021年度入試に大きな影響を与えているのが、コロナの問題です。

このコロナの問題で大きく影響を受けたのが入試日程です。まず、推薦・AO入試については、一部の大学を除き多くの大学が、ほぼ従来通りの日程で入試を行うようですが、問題は一般入試です。まず大学入学共通テストの日程が大幅に変わり、本来行われる予定日であった2021年1月16日・17日を第1日程とする一方、新たに第2日程として1月30日・31日が追加され、また2月13日・14日には特例追試験が行われることが発表されました。

これは今回のコロナ禍により休校になつた学習の遅れを取り戻すための処置として発表されたもので、現時点(2020年6月29日)での情報では、第2日程を選択できるのは現役生のみで、個人では申込みず学校単位での申込みのみとなるようです。ただ第2日程を選択すると、本来1月25日～2月3日までに手続きが必要であった前期日程と後期日程の出願締め切りと重なることになり、締め切り日を延長するのか、場合によっては大学入学共通テストを

